

## 11 場所別の自殺の状況

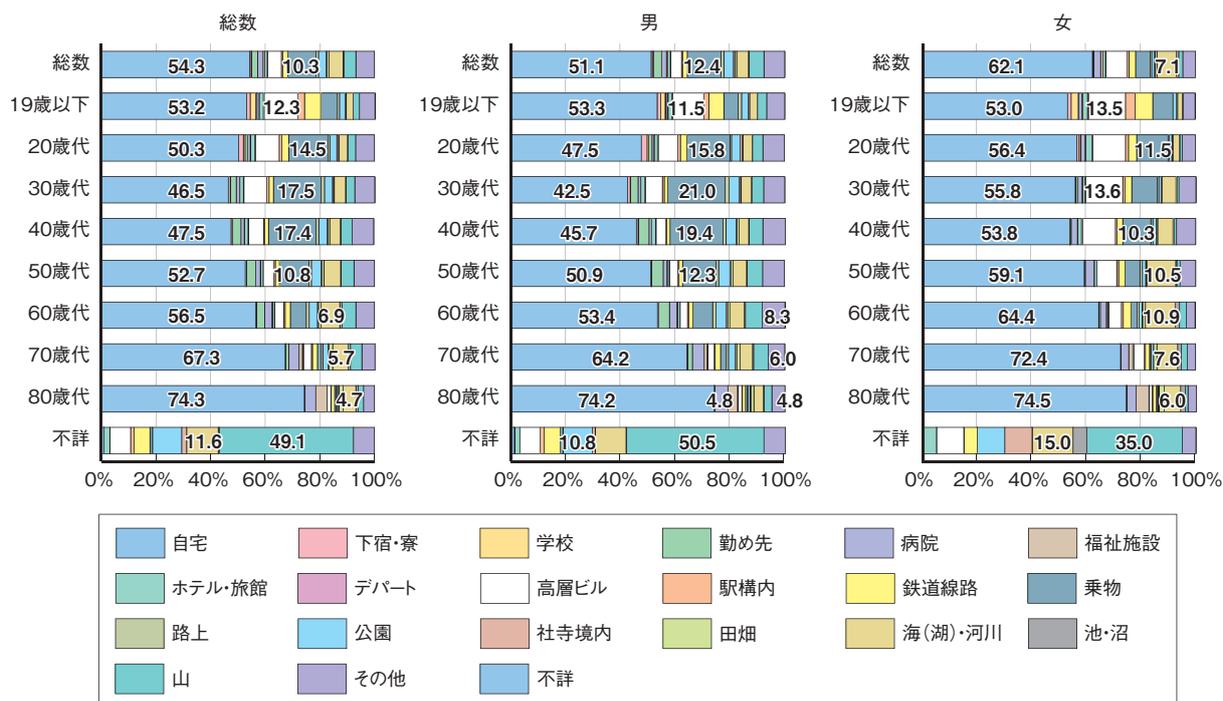
平成20年における場所別の自殺の状況について自殺統計によれば(第1-32図)、「自宅」1万7,511人(54.3%)が最も多くなっており、次いで、「乗物」3,334人(10.3%)、「高層ビル」1,656人(5.1%)、「海(湖)・河川」1,649人(5.1%)、「山」1,387人(4.3%)、の順となっている。

男女とも「自宅」が最も多く、男性については、「自宅」1万1,659人(51.1%)に次いで「乗物」2,823人(12.4%)、「山」1,248人(5.5%)、女性については、「自宅」5,852人(62.1%)

に次いで「高層ビル」735人(7.8%)「海(湖)・河川」667人(7.1%)、の順となっている。

年齢階級別にみると、男女とも全ての階級において「自宅」が最も多いが、男性については、「自宅」に次いで、19歳以下は「高層ビル」、20歳代～60歳代までは「乗物」、70歳代は「山」、80歳代以上は「病院」となっている。女性については、「自宅」に次いで、40歳代以下は「高層ビル」、50歳代以上は「海(湖)・河川」となっている。

第1-32図 平成20年における男女別・年齢階級別(10歳階級)・自殺の場所別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成